

熊本県農業信用基金協会

1. 熊本県の紹介

まず、熊本県の全体の形を遠目から眺めてください…



なんと“熊”の形に見えませんか。ひょうたんのよう物を持った熊が、片手をあげて歩いているように見えませんか。

ちなみに、顔の部分が荒尾から玉名地域、腕が阿蘇地域。もう一方の腕が宇土半島、そ

の先にひょうたん(?)のような天草を持ち、足が芦北地域ともう一方の足が球磨地域といった具合です。

そのような熊本県は、人口172万8千人(令和3年10月1日人口推計)で、県央の熊本市には、熊本地震で甚大な被害を受け復旧中の熊本城、西には美しい島々からなる天草、東には、火の国熊本のシンボル阿蘇山と、国内でも有名な観光地を有しています。地下水も豊富で、熊本市民の水は殆ど地下水で賄われています。その豊富な水を活用するため、半導体の工場も近年増えつつあり、そのなかでも話題のTSMCの誘致に伴い菊陽大津方面は活気に沸き、当該地域は、さながらバブルの様相です。

2. 熊本県の農業

熊本県は、山間部から平野部、海岸部と変化に富んだ地形や気候を活かして、たくさんの農産物が生産されています。認定農業者数は全国第3位、令和4年度の農業算出額は全国第5位。トマト、西瓜、不知火(デコポン)、葉たばこ、いぐさ、カスミソウ、カリフラワー等は全国第1位の生産額。その他にも、茄子、メロン、生姜、栗など、全国的にも上位を占める品目が数多くある農業県です。



熊本のトマト



熊本の西瓜

【全国に占めるくまもと農業の地位】

区分	単位	全国	九州	熊本県	熊本県の全国に占める順位	割合(%)
農業経営体数 (R4年)	千経営体	975.1	150.2	31.8	8	3.3
認定農業者数 (R4.3月末)	千人	222.4	43.8	10.1	3	4.5
基幹的農業従事者数 (R4年)	千人	1,225.5	204.3	47.8	4	3.9
耕地面積 (R4年)	千ha	4,325.0	511.1	105.9	13	2.4
田面積 (R4年)	千ha	2,352.0	299.0	64.9	13	2.8
畑面積 (R4年)	千ha	1,973.0	212.1	41.0	8	2.1
樹園地 (R4年)	千ha	258.6	50.5	13.0	6	5.0
牧草地 (R4年)	千ha	591.3	13.4	6.1	4	1.0
農業産出額 (R3年)	億円	88,384	17,905	3,477	5	3.9
生産農業所得 (R3年)	億円	33,479	7,154	1,485	4	4.4
トマト (R3年)	千t	725.2	200.2	132.5	1	18.3
すいか (R3年)	千t	319.6	...	49.3	1	15.4
不知火類(デコポン) (R2年)	千t	46.6	...	19.6	1	42.1
葉たばこ(販売量) (R3年)	千t	14.2	7.6	2.7	1	18.9
いぐさ (R3年)	千t	6.4	...	6.4	1	99.5
宿根カスミソウ (R3年)	千本	50,800	...	19,600	1	38.6
カリフラワー (R3年)	千t	21.6	...	2.5	1	11.7
なす (R3年)	千t	297.7	62.9	33.3	2	11.2
メロン (R3年)	千t	150.0	...	25.4	2	16.9
しょうが (R3年)	千t	48.5	...	5.2	2	10.8
なつみかん (R2年)	千t	30.1	...	6.2	2	20.6
くり (R3年)	千t	15.7	...	2.2	2	14.1
トルコギキョウ (R3年)	千本	85,400	...	10,600	2	12.4
いちご (R3年)	千t	164.8	...	12.1	3	7.3
アスパラガス (R3年)	千t	25.2	...	2.4	3	9.4
うんしゅうみかん (R3年)	千t	749.0	...	90.0	4	12.0
かんしょ (R3年)	千t	671.9	...	18.0	6	2.7
水稲 (R4年)	千t	7,269.0	741.3	156.8	16	2.2

(資料) 農林水産省「2020年農林業センサス」、「作物統計」、「生産農業所得統計」他
※主要農畜産物の収穫量の欄の「・・・」は、主要産地県のみ調査されている作物。順位は主産地県中の順位。

また、畜産についても、肉用牛（飼養戸数2,170戸/全国7位、飼養頭数133千頭/全国4位）や乳用牛（飼養戸数494戸/全国4位、飼養頭数43千頭/全国3位）で飼養戸数及び飼養頭数ともに全国上位に位置しています。（出展 くまもとの農林水産業 2023）

【全国に占めるくまもと畜産の地位】

区分	単位	全国	九州	熊本県	熊本県の全国に占める	
					順位	割合(%)
乳用牛						
戸数	戸	13,300	1,300	494	4	3.71
頭数	頭	1,371,000	103,100	43,600	3	3.18
肉用牛						
戸数	戸	40,400	17,700	2,170	8	5.37
頭数	頭	2,614,000	941,700	133,600	4	5.11
豚						
戸数	戸	3,590	1,130	146	8	4.07
頭数	頭	8,949,000	2,800,000	339,400	10	3.79
採卵鶏						
戸数	戸	1,810	357	38	22	2.10
頭数	千羽	180,096	23,368	2,493	23	1.38
肉用鶏						
戸数	戸	2,100	1,090	67	5	3.19
頭数	千羽	139,230	70,026	3,848	7	2.76

(資料) 農林水産省「畜産統計」(R4.2.1)

3. 熊本県農業信用基金協会の概要

協会は、理事9名（うち常勤1名）、監事2名、職員18名（うち臨時職員2名）で、総務部および業務部（農業・事業資金審査担当、生活資金審査担当、債権管理担当）の2部体制により業務を行っています。また、新たに業務部内に、審査システム準備室を4月に立上げ、令和7年2月予定の「保証審査システム」稼働に向けて、万全の体制で臨んでいく構えです。



4. 熊本県農業信用基金協会の活動

当協会は、県、市町村、JA及び農林中農熊本支店等と連携し、農業資金はもとより、ローンセンターを平成20年6月に立上げ、住宅ローンを組織的に獲得する体制を構築したことにより新規保証引受け及び残高ともに、この10年で倍増し、残高は令和5年3月末2,323億円となっています。

また、これまで、農業者の経営支援にも積極的に取り組んできました。古くは、負債の返済が厳しくなった農業者に対しては、農業経営負担軽減支援資金や畜産特別支援資金が円滑に融通されるように、行政における事前審査段階から積極的に関わりを持ち、取り組んできました。直近では、新型コロナウイルスにかかる資金繰り支援のため、県が独自資金を創設し、コロナによる農業者の経営破綻を回避するよう、私たち協会も協力して取り組んできたところです。

また、新型コロナの影響を受けた農業者からの条件変更にも、柔軟に対応してきましたが、どうしても再建が困難となった農業者の代位弁済が顕在化しつつあり、今後、大幅な代位弁済増とならないか、懸念しているところです。

今後の代位弁済増に際し、農業者を安易に廃業に導かないようJAと連携し、苦しみ農業者の再生・再建を目指して、組織横断的に情報の共有を行うとともに、協会内の英知を結集し対応するため、協会内に「債権対策会議」を新たに設置し、取り組み強化しています。

私たち熊本県協会は、農業用資材や燃油高騰の元凶となっているロシア・ウクライナ戦争が一刻も早く終結することを祈りつつ、JAはじめ関係機関と連携し、地域の農業と地域の発展に今後も深く関わっていく所存です。